

第29回全国消防操縦法大会 階上町消防団、優良賞!!



発行所

公益 青森県消防協会
財団法人

〒030-0113
青森市第二周屋町4丁目11-6
電話 017(763)5333
FAX 017(739)1160

2022年度
全国統一防火標語

お出かけは マスクかけは 火の用心

消防協会ホームページ



第29回 全国消防操縦法大会成績表

ポンプ車の部				
順位	都道府県名	消防団名	審査総合得点	タイム
優勝	鹿児島県	なかたねちようしょうぼうだん 中種子町消防団	192.0	111.33
準優勝	千葉県	いちかわししょうぼうだん 市川市消防団	189.5	115.42
#	石川県	あなみずまししょうぼうだん 穴水町消防団	189.0	115.65
#	岩手県	きたかみししょうぼうだん 北上市消防団	187.0	112.34
優良賞	新潟県	じょうえつししょうぼうだん 上越市消防団	187.0	115.39
#	青森県	はしかみちしょうぼうだん 階上町消防団	186.0	113.86
#	広島県	ふくやまししょうぼうだん 福山市消防団	184.5	113.43
#	岡山県	わけちしょうぼうだん 和気町消防団	184.0	116.20
#	島根県	まつえししょうぼうだん 松江市消防団	183.5	117.09
#	奈良県	かつらぎししょうぼうだん 葛城市消防団	183.0	112.33



令和4年10月29日(土)千葉市原市千葉県消防学校で、第29回全国消防操縦法大会が開催されました。

2年毎に開催される全国消防操縦法大会は、平成30年に開催した第26回大会後、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響から、中止を重ね、4年ぶりの開催となりました。また、その間により現実在即した形の操法とするため、実技の一部が変更となり、パフォーマンス的動作を見直した新しいルールが本年より採用されることとなりました。

青森県からは、8月27日(土)に開催された第33回青森県消防操縦法大会ポンプ車の部で優勝した階上町消防団が県代表として参加し、訓練の成果を遺憾なく発揮しました。念願の出場を果たした今大会、団員一同一体となって大いに健闘し、見事優良賞入賞となりました。階上町消防団内城団長は「大正11年に階上村消防組が設立されて以来、今年で発足100周年。記念すべき年に花を添えてくれた選手をはじめ、ご支援、ご指導してくださった全ての方々に感謝を申し上げます。これからも消防操法を基本とし、迅速、確実かつ安全に消防活動するために、地域防災力向上に努める」とコメントしました。

出場選手

- 指揮者 班長 藤 裕樹
- 1番員 班長 山下 寿彦
- 2番員 部長 佐京 忠光
- 3番員 分団長 黒坂 隆聖
- 4番員 副分団長 富田 隆智
- 補助員 団員 黒坂 康人

※大会結果「小型ポンプの部」は日消HPからご確認ください。

令和4年
秋の叙勲・褒章受章者

☆令和4年秋の叙勲受章者が11月3日付で発表されました。

【瑞宝双光章】
阿部 正弘 (元田舎館村消防団団長)
神 文敏 (元つがる市消防団団長)
丁塚 俊夫 (元おいらせ町消防団団長)

【瑞宝単光章】
小川 学 (元横浜町消防団団長)
河野 清光 (元東通村消防団分団長)
工藤 昇 (元十和田市消防団副団長)
工藤 興志 (元青森市青森消防団分団長)
須藤 正 (元深浦町消防団分団長)
田中 保 (元黒石市消防団分団長)
十枝 内輝 (元七戸町消防団副団長)
中城 清 (元階上町消防団副団長)
中山 博 (元八戸市消防団副団長)
名久井 重信 (元南部町名川消防団副団長)
根市 正廣 (元三沢市消防団副団長)
福田 栄一 (元佐井村消防団副分団長)
前山 義秋 (元西目屋村消防団副団長)
三浦 勝美 (元新郷村消防団副団長)
三和 弘二 (元五所川原市消防団副団長)
山谷 明人 (元むつ市消防団分団長)
雪田 武美 (元青森市浪岡消防団副団長)

【藍綬褒章】
齋藤 涉 (平川市消防団副団長)
平尾 広道 (むつ市消防団副団長)
三浦 雅一 (五戸町消防団副団長)

受章者の皆さん、おめでとうございます。
益々のご活躍を祈念いたします。

令和4年 青森県褒章

☆令和4年青森県褒章受賞者が11月15日付で発表されました。

次の5名が消防業務に精励し、公益と民生の安定に貢献したとして顕彰されました。

蛭名 善二 (元東北町消防団副団長)
下山 正彦 (鶴田町消防団副団長)
傳法 谷林 (つがる市消防団副団長)
山口 利文 (元黒石市消防団副団長)
山本 正志 (田舎館村消防団副団長)

階上町消防団、 三村青森県知事表敬



令和4年10月14日(金)、第33回青森県消防操法大会結果及び第29回全国消防操法大会(千葉県市原市開催)の出場報告のため、階上町消防団選手一同、青森県消防協会下山会長が、三村県知事を表敬訪問しました。

表敬訪問では、下山会長から4年ぶりの実現となった本大会の支援への感謝と、競技結果報告を行い、今後も消防操法技術の向上等で自らを鍛錬し、地域の安全と安心に尽くすことを誓いました。

続けて、全国大会に出場する選手の紹介をし、団員を代表して階上町消防団 内城団長から「感染症の不安がある中で、の挑戦でもあり、感慨はひとしお。来る全国大会では気を引き締めなおし、県代表としての自覚と責任をもち、精一杯頑張つて参ります」と、全国大会に向けた意気込みを語りました。

また、三村知事からは「代表として優勝を目指してほしい。日常の活動に感謝すると共に、熱い思いをもって激励します」とのお言葉をいただきました。

令和4年秋の火災予防運動

三沢市消防団

消防団車両中継送水等訓練、 広報活動

10月16日(日)三沢市消防団は、三沢市にて消防団車両中継送水等訓練、ユニバース三沢堀口店にて住宅用火災警報器啓発活動・消防団員募集の広報活動を行いました。

訓練には17の分団と本団から90名程の団員が参加し、早朝からの訓練に励みました。三沢市消防団 大沢団長からは「長引くコロナ禍の中、久しぶりの訓練となったが、機敏な動作で訓練に取り組む様子に安心した。一層のスキルアップを目指して訓練に励んでいこう」とのお言葉がありました。

また、機械器具点検後、消防団車両中継送水訓練、広報活動に分かれ、それぞれの活動に励みました。広報活動には女性消防団員 梅津団員も参加し、訪れた住民に住宅用火災警報器の設置、消防団員の募集を呼び掛けました。



十和田市消防団

保育園訪問 避難訓練



10月20日(木)十和田市消防本部、十和田市消防団女性消防団員が、十和田市ほなみ保育園を訪問し、避難訓練や消火訓練等を実施しました。

訪問活動に参加した畑山副分団長、下山団員は、園児たちと一緒に避難訓練や放水体験、スモークマシンを体験し、火災発生時の行動について学習しました。畑山副分団長は、「いざという時に対応できるよう訓練は大事。子供たちと一緒に活動することはこれまでなかったもので、今回園児のみなさんと一緒に訓練する機会があつてよかった」と話しました。

訓練の終わりにはすっきり打ち解けた様子の園児たちと敬礼をし、火災発生時の行動について楽しく学ぶことができました。十和田市消防団では、来年度以降も訪問活動を行う予定としています。火災予防の意識付けや消防団のPRを行うことで、子供たちからも消防の輪が広がることを期待されます。

野辺地町消防団

幼年消防クラブ防火セレモニー



☆野辺地町消防団 横濱団長が参加されました。

青森市青森消防団

出動式



☆アスパムからパトロールに出動する消防団員

消防団活動報告

弘前市消防団

ふれあいフェア

10月30日(日)、弘前市えきどてプロムナード、弘前駅前公園、ヒロロにて、弘前市消防団ふれあいフェアが開催されました。

主催者によると、消防団活動をより知ってもらうために、市内の大学や消防団協力事業所と連携し、消防団活動の認知度向上と入団促進、防災意識向上を図ることを目的とし開催され、楽しみながら学ぶことのできるイベントとして多くの参加者で賑わいを見せていました。

会場には、弘前医療福祉大学短期大学部による心肺蘇生とAEDの体験、女性消防団による応急手当体験、消防団協力事業所によるコンクリート破壊・木材切断体験等、様々な体験が出来るブースが設置され、参加者は各ブースを巡るスタンプラリー企画に参加しながら防災知識を深めました。女性消防団によるブースでは、日用品で出来る応急手当の説明や、新聞紙スリッパ作成等、いざという時に使える日用品の転用方法を紹介し、特別な備えではなく普段の生活が防災に繋がっていることをPRしました。また、消防団協力事業所によるブースでは、災害時や緊急時に資機材の提供で協力している旨の説明や、実際に使われる機材でコンクリートや木材を破壊する体験が行われていました。

人通りの多い弘前駅前公園やヒロロ前では、伝統ある纏振りやほしご隊の実演、ラップ隊による演奏が行われ、街行く市民の皆さんに消防団の存在を大きくPRしました。



八戸市消防団
『Danceho!!』
活動中!

☆防災戦士ダッシュ119の新メンバー!?

青森市消防団

ラインメール青森 vs FC大阪 纏振り



☆FC大阪戦にて纏振りを披露しました。

消防個人年金

『将来の自分のための積立年金制度』

消防個人年金制度は、消防団員・消防職員の皆様の老後の安定と福祉の向上を図るために、(公財)日本消防協会が、第一生命保険株式会社と締結している拠出型企業年金です



消防個人年金の説明に担当者がお伺いします。都道府県消防協会を通じてお申し込みください。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://www.nissho.or.jp> (各種共済制度のご案内→消防個人年金制度)

人と地球のいのちを守る
MORITA



13m ブーム付多目的消防ポンプ自動車 MVF



アルミ製蓄圧式粉末消火器 アルテシモ

株式会社 **モリタ** / **モリタ宮田工業** 株式会社

〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町3丁目8番55号

電話 022-238-6461 (モリタ 仙台支店)

022-238-4711 (モリタ宮田工業 東北営業部)



板柳町消防団 防災訓練

10月2日(日)、板柳町多目的ホールあぶる及びその周辺にて令和4年度板柳町防災訓練が行われ、消防団員や消防吏員、地域住民が参加し、防災体制の強化と住民の防災意識の高揚を図りました。

訓練では、津軽地方を震源とするマグニチュード6.9、最大深度6弱を記録した直下型地震が発生し、ライフラインに甚大な被害が生じている状態を想定し、参加者一同緊張感をもって真摯に訓練に取り組み様子が見られました。

消防団は、消防車による住民に対する巡回広報を行う災害広報訓練、本部の設置・運営や被害状況及び対応状況の報告を行う災害対策本部設置運営訓練、地震により道路をふさいだ障害物(倒木)を除去し交通路を確保する障害物除去訓練等に参加しました。

第41回全国消防殉職者慰霊祭



9月15日(木)ニッショーホールにおいて第41回全国消防殉職者慰霊祭が執り行われました。岸田内閣総理大臣をはじめとするご来賓と新たに合祀された御霊のご遺族、都道府県のご遺族等のご参列のもと、十分な感染防止対策を講じ挙行されました。本県からは青森県消防協会 下山会長が列席しました。

式典では、内閣総理大臣、総務大臣及び遺族代表から追悼のことばを頂き、参列者による献花が行われました。日本消防協会 秋本会長は式辞で、「災害の様相が変化している中でも、国民の安全、幸せを守り抜くため、使命を果たしていかなければならない。消防関係者自身の安全確保に力を尽くすことも私どもの責務。職に殉じられた御霊に深く敬意を表しご冥福をお祈り申し上げます」と述べました。

本年は8柱の御霊が新たに合祀され、明治5年からの消防殉職者等の御霊は、5,784柱(内本県は69柱)となりました。

令和4年度 青森県女性消防団員 活性化研修会



9月30日(金)ホテル青森にて令和4年度青森県女性消防団員活性化研修会を開催し、県内各地の女性消防団員44名が参加しました。

今回は、日本赤十字秋田短期大学及川真一先生を講師に、「楽しみながら学べる地域防災のススメ」をテーマとしました。非常時に向けた備えを特別なことと捉えず、楽しみながら防災を学び、これからの防火防災の取り組みに活かすことを目的に、午前の部では先生ご自身が東日本大震災で被災した際の体験やそこから得た防災への課題、日頃の活動が紹介され、午後の部では先生のお話を踏まえて自分たちの消防団活動の課題を共有し解決策をグループワーク形式で検討しました。

2022年新型 **VF63BS** B-2級
VF53BS B-3級

4 STROKE

消火・排水対応

クラス最軽量

乾燥質量比較(セルスタータ式)

VF53BS/VF63BS	84.5kg
VC42AS/VC62BS VC72BS	85.0kg
VF53AS/VF63AS	98.0kg

0 80 85 90 95 100

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 3-5-4
03-3966-3115 FAX 03-3966-0090

TOHATSU

モリタ式各種消防ポンプ自動車
トーチ各種小型動力ポンプ
キンパイ、消防用各種ホース
消防服、防火衣、刺子外套
コミュニティ防災資機材
防災、防護、消防用品

振り縄いM-3型

有限会社 **丸栄消機**

〒030-0903
青森市栄町一丁目12-1 TEL017-742-1186 FAX741-8931